

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価 担当	局名	都市整備局
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成		課(室)名	デジタル社会基盤整備室
	施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進		電話番号	087-839-2455
	基本事業	集約拠点における都市機能集積		事業実施主体	市
	事務事業	地理空間データ基盤整備事業		事業期間	令和 4年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	当該事業は、スマートシティを推進する上で課題となっている、行政の管理する紙の台帳類（ベース・レジストリ）について、「窓口業務の短縮」と「データ連携による新たなサービスの創出」を両輪とした持続性のある段階的なデジタル化を展開し、都市経営視点でのDXの推進及び都市政策の施策感度の向上を目指す。				
年度概要	①G7香川・高松都市大臣会合イベント開催等 ②G7香川・高松都市大臣会合イベント開催 ③GIS等保守管理費 ④Web API保守管理費				
重点取組事業	市長マニフェスト		5-⑦	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

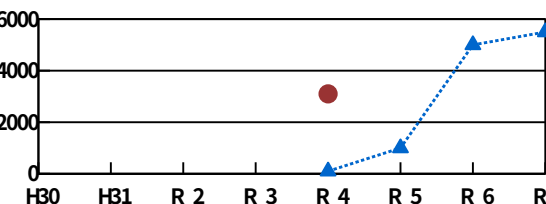
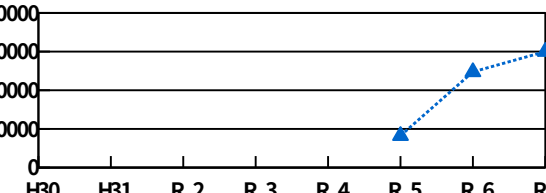
【事業の目的】

対象（何を）	行政が管理しなければならないインフラ関連の台帳類（ベース・レジストリ）
意図（どのような状態にしたいか）	「窓口業務の短縮」と「データ連携による新たなサービスの創出」を両輪とした持続性のある段階的なデジタル化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① マイセーフティマップ上に掲載したデータ数	データ数			40	40	40
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	マイセーフティマップの延べユーザー数	人	目標値			100	1,000	1,000
			実績値			3,100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） Webアプリケーションとして開発することができたため、延べユーザー数としたところを、アクセス数として計上した結果、目標の100に対して1000のアクセス数となり、一定のユーザーを取得できた。 				(達成度) 3100.0% 35点			
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	公開したデジタルマップへのアクセス数	アクセ	目標値				16,500	16,500
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 	(達成度)			(達成度)			

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕			32,930	91,663
（事業費）	〔円〕				60,230
（職員人件費）	〔円〕			32,930	31,433

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 事業を推進していく上で、事務のスクラップ及び効率化を推進する必要がある、主に①窓口業務の手続き時短②台帳の更新の最適化③維持管理DX④デジタル化に向けたルール調整について整理する必要があると考えている。各々について、1次と2次含めた予算の考え方を今年度通して検討し、具体的なコストカットモデルの提案を行う。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後は、令和4年度に整備したデータ連携を可能とする基盤を核とし、DXによるベース・レジストリの利活用をさらに推進することで、あらゆる分野での新たな価値の創出、持続性の高い地域課題の解決に取り組んでいく。			